

競技注意事項

1 競技規則について

本競技会は2021年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本競技会要項及び競技注意事項（本注意事項）により実施する。

2 競技者の事前準備

本競技会に参加する競技者は、事前に大会ガイドラインとなる「大会参加にあたって」を確認し、下記の準備をしておくこと。

- (1) 江東区陸上競技協会ホームページ(<https://koto-tf.wixsite.com/koto-tf>)より、「大会出場同意書」・「体調管理チェックシート」をダウンロードし記入をしておくこと。その際に、検温については、競技会出場当日を含む8日間の検温結果を必ず記入すること。

※「大会出場同意書」は、小・中・高校生のみ提出すること

- (2) 当日は、ビブス（胸・背中用2枚、腰用1枚）、マスク、個人用シート、個人用タオル、ゴミ袋、ADカード入れ用首掛けホルダー、筆記具を持参すること。

3 競技場の入場及び競技者受付について

- (1) 競技場スタンドへの入退場口はメインスタンド正面入口横のD階段のみとする。

- (2) 開門時刻は8時00分とする。TICでの受付開始時刻は7時45分からとする。

※開門前に来場した競技者及びその指導者・引率者は、ソーシャルディスタンスを保って開場を待つこと。

- (3) 競技者は入場の際に、手指消毒を行う。検温は自宅で済まし、「体調管理シート」に記入しておくこと。

- (4) 競技者（団体代表者）はTIC（メインスタンド外側、駐輪場付近に設置）にて、事前に記入した「保護者同意書」を提出し、ADカードを受け取る。

- (5) プログラムに記載ミス（氏名、学年、所属等）があった場合には、競技開始の1時間30分前までに本部へ申し出ること。なお、プログラムの記載事項は、申し込みの際に送信されたデータをそのまま使用している。

- (6) 各自の競技（ウォームアップ）開始時刻に合わせて来場し、競技場に長く滞在しないようにすること。

- (7) 今大会ではADカードの回収は行わない。競技が終了したら速やかに帰宅すること。

4 練習について

- (1) 練習は競技場内で行うことができる。競技役員の指示に従い、指定された場所・時間の範囲内で行うこと。ただし、競技運営上、練習を制限することがある。練習中は各々が事故防止に万全を期すこと。

- (2) 競技場内（競技区域内）に入場できるのは、練習の際についても本競技会に参加する競技者と指導者とし、引率者等の立ち入りは認めない。

- (3) 競技区域内での練習は、本競技会に参加する競技者に限定する。（競技区域内で練習する際は、競技者用ADカードを身につけること）

- (4) 周回レースが行われていない時間帯については、バックストレートを開放する。

- (5) 開門から競技開始までの時間帯の練習は以下の通りとする

ホームストレートの使用について、

①1・2レーンは周回を使用した練習を認める。ただし、安全を考え、スピードを上げた練習は注意すること。

②3・4レーンは安全確保の為、使用しない。（ハードルレーンを増やすこともある）

③5～8レーンはハードル専用とする。

- (6) 走幅跳の足合わせは、競技会開始前にピットの準備ができ次第使用を認める。フィールド競技の練習は競技役員の指示に従って、招集完了後に各々の競技場所で行う。

- (7) 練習に必要な用器具は主催者が準備する。個人で持ち込んだ用具を使用して練習場所を占有することを禁止する。

5 欠場について

本競技会を欠場する際は、本人または引率者・顧問を通じて、競技開始時刻の60分前までに競技者係（招集所：100mスタート地点後方）に申し出ること。

6 招集について

(1) 招集は、100mスタート地点後方にておこなう。

- ① 競技者係の点呼を受けること。その際、アスリートビブス（旧ナンバーカード）・腰ナンバー標識（トラック競技のみ）のチェックを行う。
- ② ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことはできない。
- ③ 代理人による点呼は認めず、招集完了時刻を超えた場合は当該種目を棄権したものととして処理する。

(2) 招集所において、競技者は必ずマスクを着用すること。

(3) 各競技の招集開始時刻・招集完了時刻、リレーオーダー用紙の提出締切時刻は、タイムテーブルに記載のとおりとする。なお、リレーオーダー用紙は、プログラムに準備しているものを使用し、1部を作成しTICへ提出すること。

7 アスリートビブスについて

(1) アスリートビブスは、事前に発表されたスタートリストを確認し、各自で作成すること。サイズは**20cm×16cm**を標準とする。色は白地に黒字（2cm）で作成すること。

(2) 胸と腰に確実に固定すること。（跳躍競技については、胸または背部のどちらか一方でよい。）

(3) トラック競技に出場する競技者は、スタートリストを確認して腰ナンバー標識（1枚）を各自で作成し、右腰やや後方につけること。（リレー競技は、アンカーのみつける）サイズは18cm×12cmを標準とする。色は白地に黒字（2cm）で作成すること。

8 競技区域への入場について

(1) 競技区域への入退場はすべて競技役員の指示・誘導に従うこと。

(2) スタート地点または競技場所へ移動する際は、必ずマスクを着用すること。

9 競技及び競技方法について

(1) トラック競技

- ① トラック競技の計時はすべて写真判定装置を使用する。
- ② レーン順はプログラム記載順どおりとする。
- ③ 不正スタートをした競技者は失格とする。

【注意】不適切行為に関する国内適用が廃止されたので、以下の点に注意すること。

1. 不適切行為（速やかに構えない、「セット」で静止しない、ピクつく等）をした競技者へは、イエローカードを提示し審判長が警告を与える ※グリーンカードではない。
2. 競技会の中で2度の警告が与えられた場合は、レッドカードを提示され競技会から除外される ※競技会を通しての累積である
3. リレー競技において除外処分を受けた場合、当該競技は失格となるが、個人種目への出場は妨げられない。
- ④ 短距離走・ハードル走・リレーにおいて、スターティングブロックの使用を義務づける。ただし、小学生はこの限りではない。
- ⑤ 短距離走では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走ること。
- ⑥ リレーで使用するマーカーは各団体で用意し、レース終了後は必ずはがすこと。
- ⑦ ハードル競技・フィールド競技は、大会要項に記載の規格で行う。
- ⑧ 跳躍種目の競技者は、助走路の外側（走高跳は助走路内）に主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。

(2) 抗議について

競技の結果または競技進行中に起きた競技者の行為に関する抗議は、競技結果が電光掲示板に発表されてから30分以内に、顧問またはそれに準ずる立場の者がT I Cに申し出ること。審判長が再度検証し、担当総務員を通じて裁定を伝える。

(3) 助力

- ① 競技者が競技場所を離れる場合は、競技役員に申し出なければならない。
- ② 競技中に競技場内のスタンド下ダッグアウトから助言（指導）を行うことは禁止する。
- ③ フィールド種目に出場している競技者に対して競技区域外（スタンド）にいる競技者が録画した映像を見せることは助力にはならないが、競技区域外（スタンド）から見せることに限定され、録画した機材（スマートフォン・ビデオカメラ等）を競技区域内にいる競技者が手に持って見た場合は助力とみなす。

10 用器具について

競技用具は、主催者が用意したものに限る。

11 競技用靴について

- (1) スパイクピンの長さは9mm以内とし、いずれの場合もスパイクピンの数は11本以内とする。
- (2) 競技用靴の靴底の最大の厚さは以下の通りでなくてはならない。

トラック種目（800m未満）	20mm
トラック種目（800m以上）	25mm
フィールド種目	20mm

12 製造会社のロゴ、ブランド名、デザインマークのついた衣類やバッグ類等について

競技場に製造会社のロゴ、ブランド名、デザインマークのついた衣類やバッグ類等を持ち込む場合、「競技会における広告および展示物に関する規定」を遵守すること。

13 その他

- (1) 2021年度の日本陸上競技連盟競技規則修改正点について、特に注意すること。
- (2) 競技中の応援・助言（指導）は、競技場内のスタンドからのみ行うことができる。
- (3) 競技中の事故については主催者で応急処置をするが、以後の責任は負わない。
- (4) 主催者で預かった物品については一時保管するが、その他の盗難および紛失に関しては一切責任を負わない。
- (5) 盗難防止のため、荷物は各自で責任もって管理すること。
- (6) 記録はその都度、アナウンスおよび電光掲示板で発表する。
- (7) 届けられた遺失物については、T I C（本部）で保管する。保管期間は競技終了時までとする。
- (8) プログラムは、残部がある場合に限り、9時30分よりT I C（本部）にて500円で販売する。